

医療と倫理

M1-90048L1

1 ユニットの概要

医学はその発展の中で、つねに「正しい医療とは何か」、「良い医師とはどのような人か」を問い続けてきた。しかし、これらの問いに典型的な答えが用意されているわけではない。なぜならば、医療行為は科学技術の発展にともなって常に変化するからであり、これらの問いに対する答え方も時代によって変化しうるからである。

古代ギリシャで西洋医学が生まれたときに、すでに医療倫理の基本的な考え方は出来上がっていた。しかし、単にそれを踏襲していけばよいというわけにはいかない。現代の医療技術を臨床現場に適用する際に、古代ギリシャの医療倫理をそのまま用いることが出来ない場合があるからである。

さまざまな医療技術があつて、そのそれぞれに固有の倫理問題が伴っている。この講義では、それらを一つ一つ学んでいく。すでに普及した医療技術だけでなく、近未来の医療技術についても考察していく予定である。

最初の2回の講義で歴史を学んだあと、現代倫理学の三つの理論（功利主義、義務論、徳倫理）について学び、それらを医療の文脈に応用するトレーニングを行う（第6回～第15回）。この講義を学ぶことで、患者さんへの説明責任を果たすための能力を磨くことが期待されている。自分の意見をしっかり述べ、その理由を説明できるようになることが、本講義における受講生の到達目標である。

2 金沢医科大学の到達目標（アウトカム）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 生涯学習
- ③ 医学知識と技能
- ④ 患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤ 地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥ 科学的態度・探求心

3 ユニットの到達目標（アウトカム）：

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 現代の規範倫理学の三理論について、要点を他人に解説することができる（①、④、⑥）
- 現代医療の代表的な倫理問題について、要点を他人に解説することができる。（①、②、③）
- 現代医療の代表的な倫理問題に三理論を適用し、倫理的推論を行って結論を出すことができる。（①、④、⑥）

4 学 習 方 略

講義、レポート執筆

5 評 価

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	レポート	技能・態度	/
	出席状況	態度	
	授業態度	態度	
	小テスト	知識	
	口頭試問	知識	
総括的評価	授業態度	態度	10%
	ユニット試験（レポート）	知識	30%
	実習成績	技能・態度	60%
		技能・態度	%
合 計			100%

(特記事項)

【出欠】30%以上欠席した場合は、不可となる。【授業態度】(10点)積極性に欠ける場合は減点する。【ユニット試験（レポート）】(30点)レポートの評価に当たって、正式な書式に従わないコピー&ペーストを見つけた場合は、これを剽窃(ひょうせつ)と見なす。剽窃はカンニング同様の不正行為とみなされ即不合格となる。コピー率はコンピューターで判定し、10%以上を剽窃とする。レポート評価基準は下表のとおり。【実習成績】(60点)全15回講義の中で、毎回「質問カード」を配布するので回答すること。期限をすぎたカードは一切受け取らない。【再試験】総合得点が60点未満だった場合、筆記試験を課す。

カテゴリー	評価の尺度				
	充分 5	適度 3	最低限 2	不十分 1	不合格 0
要約	要約の完成度、倫理的問題の発見、適切な文章表現(だ・である体)				
功利主義	功利主義の理解、問題分析への応用力、説明の明瞭性				
義務論	義務論の理解、問題分析への応用力、説明の明瞭性				
徳倫理	徳倫理の理解、問題分析への応用力、説明の明瞭性				
主張・考察	自分の立場の明確性、説明の明瞭性、論理性				
(「主張」の配点)	充分 10	適度 6	最低限 4	不十分 2	不合格 0

レポート評価基準表 (ルーブリック)

6 授業スケジュール

別項参照

7 事前事後学修について

- ・ガイダンス時に配布される資料を熟読すること
- ・質問カードは Google Classroom で送信される。期限内に回答して返信すること。
- ・講義資料は Google Classroom にアップロードするので講義前に確認しておくこと。

【自己学習（準備学習）に必要な時間】

1 時限あたり 予習：60 分、 復習：60 分

8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- ・質問カードについては、優れた回答を講義の中で紹介する。
- ・レポートの採点結果を知りたい場合は、アポイントを取って研究室に来ること。

9 教育担当者

ユニット責任者： 本田康二郎 一般教育機構 医療人文学

教授 本田康二郎 一般教育機構 医療人文学

10 参考図書・文献

購入すべき図書

特に指定しない。

購入するとよい図書

1. 小川鼎三 『医学の歴史』 中央公論新社〈中公新書 39〉、1964
2. 加藤尚武・加茂直樹〔編〕『生命倫理学を学ぶ人のために』 世界思想社、1998
3. アンドレ・グアゼ 『「医」の倫理とは 明日の医療と哲学』 産業図書、2000
4. ビーチャム／チルドレス 『生命医学倫理 第5版』 麗澤大学出版会、2009
5. アルバート・R・ジョンセン『医療倫理の歴史 バイオエシックスの源流と諸文化圏における展開』 ナカニシヤ出版、2009
6. A・キンブレール 『すばらしい人間部品産業』 講談社、2011
7. 赤林朗〔編〕『入門・医療倫理 I 〔改訂版〕』 勁草書房、2017
8. ミシエル・モランジュ 『生物科学の歴史 現代の生命思想を理解するために』 みすず書房、2017
9. マーク・オコネル 『トランスヒューマニズム 人間強化の欲望から不死の夢まで』 作品社、2018

第1学年

医療と倫理

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
前	1	4月12日(金)	1	講義	ガイダンス 生命倫理の誕生	SO-04-05-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	2	4月19日(金)	1	講義	医療倫理の歴史	SO-04-05-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	3	4月26日(金)	1	講義	現代倫理学の基礎理論 1 (功利主義)	SO-04-04-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	4	5月10日(金)	1	講義	現代倫理学の基礎理論 2 (義務論)	SO-04-04-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	5	5月17日(金)	1	講義	現代倫理学の基礎理論 3 (徳倫理)	SO-04-04-01	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	6	5月24日(金)	1	講義	倫理理論を活用する	PR-02-02	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	7	5月31日(金)	1	講義	生の倫理1・・・生殖医療の倫理学	PR-04	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	8	6月07日(金)	1	講義	生の倫理2・・・遺伝子診断の倫理学	PR-04	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	9	6月14日(金)	1	講義	死の倫理1・・・脳死と臓器移植の倫理学	PR-04	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	10	6月21日(金)	1	講義	死の倫理2・・・終末期医療の倫理学	PR-04	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	11	6月28日(金)	1	講義	動物実験の倫理学	PR-04	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	12	7月05日(金)	1	講義	医療資源の分配と医療制度論	PR-04	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	13	7月10日(水)	3	講義	近未来の倫理1・・・クローニング・遺伝子編集の倫理学	PR-04	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	14	8月23日(金)	1	講義	近未来の倫理2・・・人工知能と医療ビッグデータの倫理学	PR-04	一般教育機構 医療人文学	本田教授
前	15	8月30日(金)	1	講義	近未来の倫理3・・・トランスヒューマニズムの倫理学	PR-04	一般教育機構 医療人文学	本田教授